せとうち

瀬戸内学園広報紙
発行　社会福祉法人　瀬戸内福祉事業会
瀬戸内学園　根っこ　せとうち
つばさせとうち　ケアホームせとうち
ふ た ば　クローバーせとうち
つなぐ　せとうち
発行責任者　遠　藤　幸　雄
〒712-8015　倉敷市連島町矢柄6092　☎086-448-1811

七夕

歯科医による食事観察

ふたばの暮らし

女子会

食事準備のお手伝い

洗濯物の仕分け

ふたば5周年を迎えて

日中サービス支援型共同生活援助事業所　ふたば
管理者　藤井　仁美

瀬戸内学園では疾病や特性からの障がいの重度化、高齢化による心身機能の低下が顕著となったご利用者が、心身機能が衰えても顔なじみの仲間や職員と地域の中で生活ができる日中サービス支援型のグループホーム「ふたば」を令和元年5月に開所いたしました。

現在、日中もホームで過ごすことができる事業所として、40代から喜寿を迎えた方までの女性10名が生活しています。ご利用者が、身のまわりのことに取り組めることを誇らしげに語ることもあり、お一人おひとりのより良い生活という観点から支援しています。

開所当時から生きるための基本的な活動である食事・身のまわりの用事といった「生活」を基本に支援してきた中で、現在も継続しているのが、洗濯物の仕分けです。午後のティータイム後に各自でカゴを準備し、洗濯された衣類から自分の洗濯物を探して、自分なりの方法で畳み、タンスに片づけています。ご自分だけで難しいときには職員と一緒に取り組んでいます。

また、意思決定支援の一環として職員も交えて談笑の場を毎月設けています。いわゆる、女子会です。全員がリビングに集まって、おやつや飲み物を楽しみながら、ご利用者の皆さんがそれぞれの思いを発言されています。開所当初は食事のリクエストが主でしたが、現在ではやりたいこと、欲しいもの、将来のことなど、他のご利用者の発言に促されながら次々発言されます。私たち職員は、日々振り返りを行なうとともに、ご利用者の希望したことが実現できることを大切に考えながら支援しています。女子会の中で、「今年は学園祭あるかな。」という声を耳にしました。そこで、新型コロナウイルスが2類から5類に移行し、屋外でマスクを外すことも選択可能となった5月、学園祭のような楽しい雰囲気を感じていただこうと、ふたば周年祭を開催しました。ご利用者は朝からおしゃれな服に着替えられ、屋外ではマスクを外し、お互いの笑顔を見ながら会話を楽しまれていました。楽しい音楽が流れる中で職員手作りのお好み焼きやたこ焼き、フランクフルトやカレーをお代わり自由でお腹いっぱい食べられ、最後のデザートもあっという間でした。

最年長の方が「楽しかった、またやろうな。」と話され、1日でも長く「ふたば」で元気に生活していただきたい、「ふたば」に住んで良かったと思っていただきたいと改めて感じました。新型コロナウイルスの感染予防として外食や行事はほぼ中止となり、3年近くの間ご利用者には制限の多い生活をお願いしてきましたが、これからも感染対策を取りつつ、少しずつですが活動を再開し、地域社会の中で豊かな生活を実現できるよう支援したいと考えています。

ご自分の思いを表現することが難しい方がたくさんおられる「ふたば」ですが、生活場面を通してご利用者お一人おひとりの気持ちを汲み取れるよう、これからも職員一同頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、「ふたば」では短期入所事業も併設しています。ご家族のレスパイトや将来を見据えてのお泊り練習にぜひご活用ください。

令和4年度　瀬戸内福祉事業会　事業報告・決算報告

令和５年６月22日に、グリーンビレッジ瀬戸内において評議員会を開催し、瀬戸内学園、グリーンピア瀬戸内、グリーンビレッジ瀬戸内の事業報告ならびに瀬戸内福祉事業会の決算報告を行ないました。

瀬戸内学園では、令和４年度も新型コロナウイルスの対応を行なう中、何度かクラスターも発生し、ご利用者にはご不便をおかけすることが多々ございましたが、なんとか乗り切ることができました。今後、コロナ禍前の日常に少しでも近づけるよう、行事の再開や充実した暮らしのあり方等につきまして、創意工夫のもと、検討していく所存です。また、昨年度より開始いたしました給食業務の全面委託では、委託業者のお力添えにより、ご利用者の食への楽しみが拡大していること、報告させていただきました。

法人の決算については、別表のとおりとなります。なお、令和５年５月29日に監事（２名）によって行なわれた監査で、事業報告・決算報告ともに適正であるとの監査報告を受けています。

令和４年度資金収支及び事業活動収支計算書総括表

（単位：千円）

資金収支計算書

	決算額		
	収入	支出	当期資金収支差額
事業活動による収支	1,791,684	1,641,659	150,025
施設整備等による収支	64,204	128,571	△ 64,367
その他の活動による収支	11,768	43,841	△ 32,073
当期資金収支差額合計	1,867,656	1,814,071	53,585

事業活動収支計算書

	決算額		
	収入	支出	当期活動収支差額
サービス活動増減の部	1,776,326	1,682,599	93,727
サービス活動外増減の部	15,358	12,007	3,351
特別増減の部	44,404	38,880	5,524
当期活動増減差額	1,836,088	1,733,486	102,602

貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産	1,209,528	流動負債	488,466
固定資産	2,454,808	固定負債	895,456
基本財産	2,170,349	負債の部合計	1,383,922
その他固定資産	284,459	基本金	426,886
		国庫補助金等特別積立金	617,173
		その他の積立金	20,500
		次期繰越活動増減差額	1,215,855
		純資産の部合計	2,280,414
資産の部　合計	3,664,336	負債及び純資産の部合計	3,664,336

令和４年度　瀬戸内学園後援会報告

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常の理事会は開催せず書面表決での議決とさせていただきました。令和4年度におきましても、新型コロナウイルスに振り回された年となり、後援会としては大きな事業を行なうことができませんでした。そのような状況下でありましたが、個人会員273名、法人会員25法人の多大なご協力をいただき、826,000円の会費が集まりました。この場をお借りしまして、後援会に入会していただいた会員の皆さまに厚くお礼申し上げます。

今年度は、皆さま方からいただいた会費を基に、ご利用者が安心・安全に外出できることを目的として、老朽化している公用車の更新等を検討しております。

会員の皆さまにおかれましては、健康にご留意されますとともに、今後とも瀬戸内学園後援会にお力添えをいただけるようお願い申し上げます。

瀬戸内学園後援会
会長　菊池　捷男

【後援会加入のお願い】

年会費　個人会員一口　1,000円
　　法人会員一口　10,000円

ご入会、お問い合わせは、後援会事務局までお願いいたします。

TEL 086−448−1811

苦情・事故並びに不適切な支援の報告

令和４年度、苦情報告は３件、事故報告は227件、ひやりはっと報告は106件ありました。この報告を基に、苦情解決検討委員会・危機管理委員会を毎月開催し、解決を図ってまいりました。

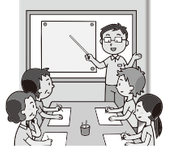
苦情報告は、３件とも地域住民の方からによるものでした。そのうちの２件は、事業所で製作したクッキーや作品の不良に対する苦情でした。そのため、事業所の信頼を回復するべく、今後このようなことのないようにマニュアルを再度見直し、チェック機能を精査いたしました。

事故・ひやりはっと報告についてですが、昨年度倉敷市に報告した事象は、転倒による骨折事故を含め５件見られました。他にも怪我による事故報告が見られており、一昨年同様、そのうちの多くはご利用者の高齢化・重度化に起因していると考察しました。そのため、できる限りバリアフリーの設備となるよう、環境改善には積極的に取り組みましたが、まだ検討すべき点もありますので引き続き対応してまいります。その他の事象につきましても１件ごとにリスク分析を行ない、改善を行なっていきました。

また、昨年度入所施設におきまして不適切な支援が発生いたしました。この件につきましては虐待防止委員会にて検討し、倉敷市への報告を行なうとともに、今後同様な事象が起こらぬように瀬戸内学園グループ全体で再発防止の徹底を図りました。この紙面をお借りしてお詫び申し上げます。本当に申し訳ございませんでした。

研修プロジェクトの取り組み

支援課長　山田　康治



研修プロジェクトでは、毎年、研修計画を立案し、その情報発信とともに職員の研修への取り組みから復命までの一連の流れをサポートしています。

まず、施設外研修においては、①知的障害者福祉協会や社会福祉協議会が主催する様々な研修会②てんかん・発達障がい等の障がいの専門性を学ぶ学習会や虐待防止及び権利擁護・意思決定支援、喀痰吸引等の支援に関する研修会③ハラスメントやストレスチェック等職員の心身のケアに関する研修会の3種類に分けて取り組んでいます。今般、コロナ禍でオンラインでの研修会が増える中でも可能な限り参加をしてキャリアアップに繋げてきました。その研修で学んだ内容は復命書に落とし込み、後日事業所内での学習会等で、職員全体にフィードバックし共有を図っています。研修に参加した職員は、よきモチベーションアップの機会となり、意見交換等をすることで多角的な視点を養うことができたのではないかと思います。

長島愛生園の見学

次に、施設内研修では、職員会議の中で各職員が講師となり福祉に関連することをテーマにミニ学習会・知識講座を開いています。また、外部講師を招聘して摂食嚥下学習会や新型コロナウイルスに関する研修会等を開催し、ご利用者の日々の生活に直結する食やリスクマネジメント等への正しい知識の習得に繋げています。

新しく入職した職員に関しては、新人研修として入職時に法人及び瀬戸内学園の基本理念とともに倫理綱領・職員行動基準を確認し、これを基に瀬戸内学園グループの業務運営組織や各事業形態について学んでもらっています。その後、人権学習の一環としてハンセン病国立療養所長島愛生園へ足を運び、人権に関する学びの機会を長年に渡り設けています。多くの入職者が県内出身ですが、『ハンセン病・長島愛生園・隔離政策等』についての見聞は少ないようです。参加者からは、「障がいがあるご利用者を支える上で、とても大きな経験をすることができた」と率直な感想を耳にします。入職者はこれらの研修と並行しながら配属先での実践研修に入ります。実践の場においては、緊張感を持ちながら先輩職員よりご利用者の特性等を鑑みた支援技術を学びながら一歩ずつ前進していきます。この春の入職者もすでに5か月が経過し、各自責任感を持ちご利用者支援に従事しています。

今後も研修プロジェクトでは、各職員が福祉従事者として各種の研修に参加することで自己研鑽を図り、個々のスキルアップができるようにサポートしていきたいと考えています。

施設内での研修会

アフターコロナの第一歩

瀬戸内学園管理者　加藤　修一

瀬戸内学園では、新型コロナウイルスに対し慎重に慎重を重ねた感染対策を講じてきました。それはご利用者のそれまでの暮らし方にも大きな変化をもたらし、ともすれば、活動における楽しみを我慢していただくことにも繋がっていたように感じます。何度かの施設内クラスターも経験し、ようやくウイルスの正体やそれに伴う気をつけるべき点が明らかになりました。そして、それを踏まえた施設内での小さな楽しみごとを少しずつ再開できるようになりました。

国内においては、感染症法上の分類の変更により、様々な制限が緩和され個人の判断に委ねられるようになっています。そのような状況下において、まず再開したかったことが施設外での活動です。一時は不要不急の外出を自粛するよう要請され、施設としてもなかなか対外的な行事への取り組みには慎重にならざるを得ませんでした。元来、車に乗って出かけることがお好きなご利用者にとっては、暮らしにおける大きな楽しみが失われていたようでした。

ほほえみ寮男性のバス外出

今回は手始めに久しぶりの集団での外出行事を計画しました。まずはマイクロバスに乗って出かけましょう!という目的であったため、施設から片道約1時間の玉野みやま公園へのドライブと軽食程度の行事となりましたが、出発前から、期待に胸弾ませておられるご利用者の皆さんの笑顔は、私たち職員にとっても非常に嬉しいものでした。

今後も感染対策を行ないつつとなりますが、ご利用者のニーズが充足し、生きがい活動に繋げていけるよう、テーマパークや食事を兼ねた外出行事の計画を増やしていきたいと考えています。

希望寮女性のバス外出

後援会ご加入ありがとうございました

・河本マユミ様　・三宅　朝子様
・五反田茂男様　・田中　英子様
・日下　博之様　・増田　昭文様
・高田　義彦様　・遠藤　堯之様
・神上園ミエ子様　・肥後　和巳様
・平松　教子様
・茂浦・富崎町内会様
・宝ケ丘町内会様
・介護保険長尾相談室（有）様

令和５年２月16日～７月15日（順不同）

ご寄付ありがとうございました

・玉田亮三郎様　・坂井美知子様
・原　裕康様　・鮫島　秀信様
・河本マユミ様　・片山　健様
・五反田茂男様　・大西　合見様
・茂浦・富崎長寿会様
・ホンダ販売労働組合様
・カーブス連島店様

令和５年２月16日～７月15日（順不同）

最近のご利用者の様子

いも掘り、こんなにたくさん

ナイスハート ふれあいのスポーツ広場！

春の行楽を楽しみました！

元気いっぱい、運動会

ホンダ販売労働組合様より、つばさせとうちに空気清浄機のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

「せとうち」の出来事

◎新しいご利用者

●藤井　聖次様（瀬戸内学園）　４月１日付
●江見　徹様（瀬戸内学園）　５月１日付

◎新人職員

●野﨑　華世
瀬戸内学園 支援員　３月13日付
ご利用者の心に寄り添うことのできる支援員を目指し、自分らしく一生懸命頑張ります。

●小野　瑛梨
瀬戸内学園 支援員　４月１日付
ご利用者に安心して気持ちの良い生活を送っていただけるよう精一杯頑張ります。

●板野　清香
ふたば　世話人　４月１日付
ご利用者が楽しく笑顔になれるよう頑張ります。

●藤澤　充
瀬戸内学園 支援員　５月１日付
ご利用者が安心して笑顔で生活できるようサポートしていきたいと思います。

令和５年２月16日～７月15日（順不同）

訃報

ご利用者　野澤　真未様（つなぐ せとうち）
令和５年５月７日永眠
心からご冥福をお祈りいたします。

編集後記

新型コロナウイルスは、５月より感染法上で５類となり、世の中では様々な行事やイベントが再開され、コロナ前の日常が戻りつつあります。瀬戸内学園グループにおいてもご利用者の楽しみのために、これまで中止していた行事やイベント等を徐々に再開していこうと考えています。また、来年の春には瀬戸内学園前の矢柄公園を使って催し物ができるよう準備を進めているところです。それとともに、今後も感染症が拡大するリスクは変わりませんので、感染対策をしっかり講じつつ、ご利用者の健康にも十分気を付けてまいりたいと思います。

（編集部一同）

クッキー工房 とまりぎからのお知らせ

新商品のマスキングテープを販売しています
とっても可愛らしいデザインになっていますので、ぜひお買い求めください！